

平成29年10月22日執行

三重県
第二区

衆議院小選挙区選出議員選挙公報 (第1頁)

三重県選挙管理委員会

発展途上国型社会から、安心と充実の成熟社会へ。

分散型エネルギー社会の推進、省エネ技術の世界展開、再生可能エネルギーへの投資拡大で、持続的な経済成長を実現します。2030年代原発ゼロに向け、あらゆる政策資源を投入します。

エネルギーと環境

地域のことは地域で決める「地域主権改革」を推進します。一括交付金を復活させ、地方が自由に使える財源を確保します。山を守り、災害を防止し、林業の発展をめざします。

地域を守る

長時間労働を規制し、働き方を見直します。同一価値労働同一賃金を実現します。最低賃金の引き上げをします。日本型ベーシックインカム構想を実現します。

働き方

経済は真の豊かさ、成長を実感できるものになります。異常な金融政策に頼らない政策で所得を改善します。日本発の「世界でたかえる産業」を育成します。中小企業や「新しい公共」を支援します。科学技術革新へのさらなる投資で、成長産業基盤を拡充します。

経済

教育は未来への投資です。すべての人に教育の機会を保障します。保育・幼児教育から大学まで、「授業料」を無償化し、さらに給付型の奨学金を充実させます。教育・事務職員の質の確保・向上を図り、同時に負担軽減をします。科学技術に関わる教育・研究環境を整備し、研究開発に携わる人材を育成します。

教育

憲法は国の礎です。憲法の基本理念「国民主権、基本的人権の尊重、平和主義」を堅持します。9条は専守防衛を原則に、自衛隊は活動の限界を明示します。首相の解散権、地方分権のあり方、プライバシー権や環境権などの新しい人権は修正・加憲します。

憲法



中川正春
オフィシャル
ホームページ



無所属

中川正春

なかがわまささはる

中川正春 プロフィール

※2017年10月現在

1950年(昭和25年)6月生まれ。1969年(昭44)3月三重県立津高等学校卒業。1973年(昭48)6月米国ジョージタウン大学外交学部卒業 国際交流基金、三重県議会議員3期(自民党)を経て、1996年10月三重2区より衆議院議員に初当選(新進党)。7期目。衆議院では長年、憲法調査会(現・憲法審査会)に所属。民主党政権では、文部科学大臣・副大臣、内閣府特命(防災、男女共同参画)担当大臣などを務め、多文化共生政策、新型インフルエンザ等対策なども所管した。また、中井治予算委員長のもと、筆頭理事として委員会の運営に尽力。党の外交・安全保障調査会長、政策調査会長代理、幹事長代行などを務め、2016年9月より民進党両院議員総会長。

まじめな政治。いすぎた東京一極集中の是正 雇用の量から質へ そして安心・安全な社会。

- 川崎二郎の公約
- 1 東京一極集中を是正し、地方再生を進める社会
 - 2 社会保障制度を大事にする社会
 - 3 伝統・文化を大事にする社会
 - 4 諸外国との信頼を大事にする社会
 - 5 国民に理解を求め、国防・治安をより充実する社会
 - 6 少子化対策を充実する社会
 - 7 若者・女性・シルバーの雇用を大事にする社会
 - 8 もの作りを大事にする社会
 - 9 地産地消を推進する社会
 - 10 お年寄り、弱い者を大事にする社会
 - 11 地域コミュニティーを大事にする社会
 - 12 環境を大事にする社会
 - 13 2025年、65歳定年を進め、シルバーパワーの活躍を推進する社会
 - 14 自助・公助・共助の中でも助け合いの心を大事にする社会

米・欧の政治が混乱する中、北朝鮮による核ミサイル開発という大きな課題を抱えることとなりました。中、口という力の外交を展開する首脳に対し「理」の外交、「協調」を主張するのが日本とドイツです。ヨーロッパの中心であるドイツとアジアの中心である日本が手を組みながら「理」の外交を展開し、国際協調の中で平和を構築することが国内の治安、国の守りをしっかりとするとともに外交による解決を目指します。

5 強力な外交の展開
政権交替後、安心安全な郷土づくりを目指し、海岸堤防、河川堤防、川上ダム建設を進めて参り、ほぼ軌道に乗りました。新たな選挙区となった地域の社会資本整備の遅れを取り戻すべく全力を挙げます。

4 災害対策
政権交代後5年経ち、雇用は大きく改善しましたが(失業率、民主政権時4.3%↓現在2.8%)。雇用政策も量から質への転換の時代を迎えました。正規・非正規の格差是正、男女の賃金格差解消、正規雇用の拡大、長時間残業の是正等の政策を進めるとともに、中小企業への配慮、支援を拡大します。

3 中部定住圏構想
行き過ぎた東京一極集中を是正し、その受け皿としての中部定住圏構想を進めます。リニア東京⇄大阪間の早期完成と亀山駅、中部国際空港第二滑走路整備、広規格道路網の整備等、交通インフラ整備を進め、国内最大の工業圏をバックアップします。教育、情報通信企業の育成、医療体制、観光、インフラ等の整備、スポーツ振興、地産地消の拡大を進め、夢のある中部圏を目指します。

2 社会保障
税と社会保障制度改革を前進させ、イギリス、ドイツ並みの無理のない中福祉に負担を軽減します。医療、介護、福祉の分野で働く人材確保を進めるとともに安定した供給体制整備に全力を挙げます。

自由民主党
公認

川崎二郎

かわさき じろう (69歳)

川崎二郎経歴【当選11回】
●S46慶應義塾大学商学部卒
●松下電器産業株式会社入社
●S55年衆議院選初当選
●郵政政務次官、地方行政委員長、運輸大臣、北海道開発庁長官、議院運営委員長、厚生労働大臣、党国会対策委員長、党国家戦略本部長、党一億総活躍推進本部長など数々の要職を歴任
●現職 自民党情報通信戦略調査会長、与党新型インフルエンザ対策ワーキングチーム座長など

第48回衆議院議員総選挙 第24回最高裁判所裁判官国民審査

投票日は

10月22日(日)

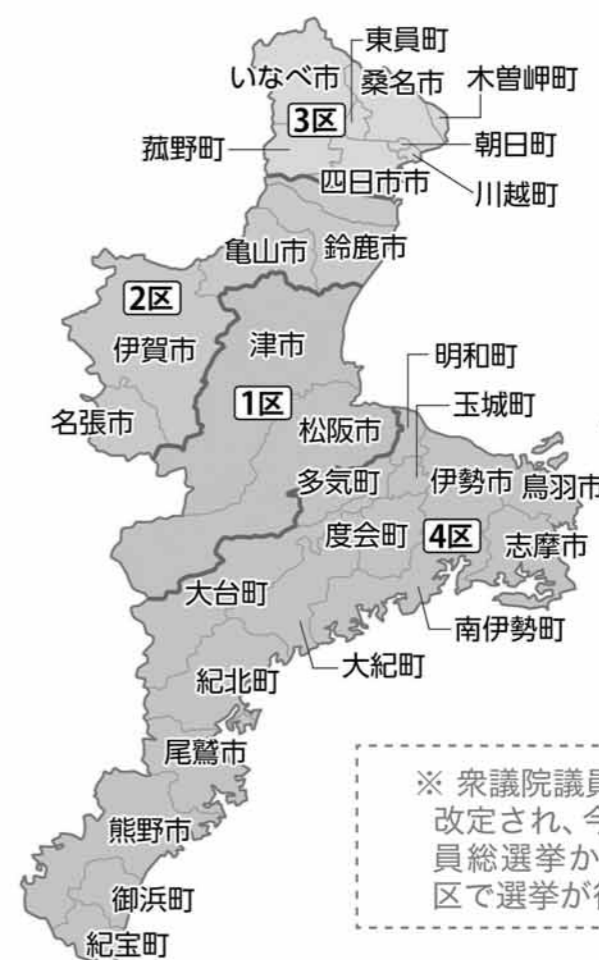
【期日前投票】

10月21日(土)まで

※10月22日に仕事、旅行、レジャー等で投票できない方は、期日前投票をしましょう。

「日本の明日を、私たちが決めよう。」

三重県選挙管理委員会



※ 衆議院議員の小選挙区が改定され、今回の衆議院議員総選挙から新しい選挙区で選挙が行われます。